

こうざ えもんつうしん 平成25年7月28日
講左衛門通信 第3号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114

「講左衛門さん、今日は2番霊場お釜池の紹介でまっすん。聞いた話だと現在のお釜池は、昔のお釜池とでは位置が変わっていると聞いたでまっすん。」

「ほ～、よく知っておるな。確かにお釜池の位置は変わってしまったのじゃよ。関東大震災の時に、池の湧水が突然止まり、西北約20mほどの田んぼの中に湧き出したんじゃ。その池が現在のお釜池じゃ。昭和9年国指定天然記念物に指定されたんじゃが、この時の池の広さは現在のおよそ10倍で43坪と記載されておる。現在の池は少し小さくなってしまったのう。」

「そんな歴史があったなんて知らなかったでまっすん。お釜池・お釜の形をしているから、池の名前になったと聞いたでまっすん。」

「間違いではないがのう。補足すると、昔は新名庄川のほとりに面した池で、釜中に熱湯が沸騰しているように湧いていたから、この名称がついたと言われておる。このことは、和歌に詠まれているので紹介するかのう。」

東叡山御免 2番霊場 お釜池 跋難蛇(ウパナンダ) 竜王

ふじの根の ふもとの原に はきいづる 水はこの世の おかまなりけり

意味 霊山富士の麓に滾々と湧き出しているこの池の霊水は、この世の罪や穢れを洗い清めて蒸発させてしまうというお釜なんだなあ

「お釜池の和歌も、深いでまっすん。大切に守っていかなくていけないでまっすん。」

「そうじゃな。富士山の尊い水じゃからな。すっかり忘れておったのじゃが、竜王の説明をしなければいかんな。八つの池にそれぞれ祀られておる竜王は大切な役目を果たしておるのじゃ。前回紹介するのを忘れてしまった、1番霊場の出口池と2番霊場お釜池の竜王を紹介しよう。」

1番霊場出口池 難蛇(ナンダ) 竜王

[難蛇]とは、サンスクリット語で[歓喜]という意味。常に国を守り、適当な時節に雨降らせて百姓を喜ばせる竜王

2番霊場お釜池 跋難蛇(ウパナンダ) 竜王

[跋難蛇]とは、サンスクリット語で[善歓喜]という意味。難蛇竜王と共に国を守り、百姓を喜ばせる竜王。また、変じて人間となり、仏の説法を聞く。

「すご～いでまっすん。知れば知るほどありがたいでまっすん。次は、3番霊場底抜池、楽しみでまっすん。」



ふじのだいごこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん…



『講左衛門通信』は、
第2・第4日曜日に発行予定